



梶中学校だより

令和3年 7月 1日

住所：梶町4-28-5

電話：06-6902-0813

色々な職業の人の話を聞き学びました(2年生)！！

今日から7月を迎え、1学期の登校も今日を含めて14日間となりました。期末テストが終了し、部活動では、3年生を中心として、生徒たちは頑張ってくれています。活気のある梶中学校が戻ってきました。その中で2年生は、キャリア教育をスタートさせています。目的は、①長い将来の見通しに立って、進路選択の重要性に気付かせる。②働くことの意味を考え、将来の自分像を具体的に描く手がかりにする。③様々な職業について興味を持ち、知ることで自分に適した職業を考えるです。



道徳「勤労」について

まず、29日(火)には道徳の授業の中で「勤労」についての文章を読み、「将来働くときに大切にしたいことは何か」「いつかは社会に出て誰かを支える立場になるが、今のうち(中学生)から身につけておきべきこと、意識しておくことは何か」を考えまとめました。

次の日の30日(水)には、ランチルームにて、美容師である「村井佐都美さん」救急救命士である「楠本正暁さん」梶らいこうじ学園の園長である「越部慶子さん」修学旅行などを計画立案して添乗もいただいている阪急交通社の「稲田智博さん」4名の方々の話を聞き学びました。どの方々の話の中でも共通していたのは、国家資格等の資格が必要であるということでした。村井さんの話の中では、実際に髪の毛をきるまでに人形を使って練習をしてきたことやスタイリストとしての資格を取得した時の喜び、海外での体験等、数多くの話を聞かせていただきました。楠本さんの



村井佐都美さん



楠本正暁さん



越部慶子さん



稲田智博さん

話の中では、救急救命士がどのような治療等を行うことができるのかや阪神淡路大震災等での生き死にの場面に直面してきたこと、新型コロナウイルスでは、搬送する病院がなかなか決まらず、何時間も救急車の中で待機しなければならなかったことなどを聞かせていただきました。越部さんの話の中では、映像を通しての園内での保育等の様子や子ども園の先生たちにインタビュー形式で先生になろうとした理由等を聞かせていただきました。こども園では、保育士と幼稚園教諭の両方の資格が必要な事や子どもたちと遊ぶためには体力が必要な事、小さな子どもたちがどのようにして「じゃんけん」ということを学ぶのかなど具体的な話を聞かせていただきました。稲田さんの話の中では、旅行社とはどのような仕事をしているのかの説明とともにやりがいや楽しさなどの話を聞かせていただきました。

約1時間半の間、生徒たちはメモを取りながら、真剣に話を聞くことができていました。会の終了後には、どの講師先生からも「しっかりしていますね」とお褒めの言葉もいただきました。今後もキャリア教育は続きますので、しっかりと学び続けてほしいと思います。

家庭科の授業

1年生では、色々な縫い方の学習をし、実施に縫うことの練習をしています。どの生徒も楽しそうにしていますが、なかなか難しそうです。



部活動紹介



女子バドミントン部